

[illegible]

(1) 児童（生徒）の実態

(2) 議題選定の理由

＜第○学年及び第○学年の例＞

よりよい生活や人間関係を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
・・・・・・・・ ・・・・・・を理解している。 ・・・・・・・・ ・・・・・・を身に付けている。	・・・・・・・・ ・・・合意形成を図り・・・・ ・・・・・・・・・・実践している。	・・・・・・・・ ・・・・・・ ・・・・・・取り組もうとしている。

[計画委員会の活動]

日 時	児童（生徒）の活動	指導上の留意点	◎目指す児童（生徒）の姿 （観点）【評価方法】
○月○日（○） 業間休み			
○月○日（○） 帰りの会			
○月○日（○） 昼休み			

[学級全員の活動]

日 時	児童（生徒）の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童（生徒）の姿 （観点）【評価方法】
○月○日（○） 帰りの会			
○月○日（○） 帰りの会			
○月○日（○） 朝の会			

5 本時の展開

（１） 本時のねらい

（２） 児童（生徒）の活動計画（事前の活動で児童（生徒）が作成した計画）

※計画委員の児童（生徒）が作成した活動計画を指導案に添付します。

（３） 教師の指導計画（本時の展開）

	活動の内容	児童（生徒）の活動	◎目指す児童（生徒）の姿 （観点）【評価方法】
導入	1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 決まっていることの確認 6 話合いのめあての確認		
出し合う・くらべ合う	7 話合い ○話合うこと① ○話合うこと② ○話合うこと③		
まとめる （決める）	8 決まったことの発表 9 振り返り 10 先生の話し 11 終わりの言葉		

6 事後の活動

日 時	児童（生徒）の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童（生徒）の姿 （観点）【評価方法】
○月○日（○） 帰りの会			
○月○日（○） 休み時間			
○月○日（○） ○校時			

[illegible]

(1) 児童（生徒）の実態

(2) 題材設定の理由

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度

児童（生徒）の活動	指導上の留意点	目指す児童（生徒）の姿と評価方法

5 本時のねらい

	児童（生徒）の活動	指導上の留意点（○）と評価（☆）	資料
導入（つかむ）			

展開 (さぐる) (見つける)			
終末 (決める)			

6 本時の展開（ティームティーチングの場合）

	活動の内容	指導上の留意点		資料	目指す児童（生徒） の姿と評価方法
		T 1 ()	T 2 ()		
導入 (つかむ)					
展開 (さぐる) (見つける)					
終末 (決める)					

7 事後の活動

児童（生徒）の活動	指導上の留意点	目指す児童（生徒）の姿と評価方法